

〈解答〉

- ① 1 ア
2 ア
3 話している
4 ア
5 「例」自分の利益になったり、好奇心を刺激してくれたりするような話。

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 下の「いく」が上の「つながって」に意味を添えているので、答えはアとなる。
2 「集」「明」は文字を組み合わせて別の意味を示す会意文字である。ちなみに「本」は抽象的な事柄を形で表す指事文字、「川」は物の形を象った象形文字、「花」は意味と音声を表す文字を組み合わせた形声文字である。
3 「脳がおもしろいと感ずる話」に関する前半と、「脳の運動系と感覚系」に関する後半に大別できる。
4 「つまらない話」の例として11～12行目「子どもの頃、親戚の集まりなどで大人たちがしている会話」が挙げられているので、ここにはア「たとえば」が入る。
5 この後に続く文章に出てくる17行目「自分の利益になる話」20行目「好奇心を刺激してくれる話」の二つが「脳が面白いと感ずる話」である。